

毎月1回発行
発行と編集
秋田県森吉町役場
企画室
TEL(米内沢)44番



—110番を開設—
米内沢警察署

このたび米内沢署に、公電五一番のほかにク一一〇番々の電話ができました。

ちなみにク一一〇番々は本丁、たきや呉服店の電話番号であったのですが、同店主佐々木武雄さんが、町民の便宜を図るべく、警察にゆづられたものです。

事件は一〇番へ！！

六月二十一日から通話開始

ねる前に
もう一度
心の用心

比例して、自動車事故が発生しています。
人命を事故から守るために
運転者はもちろん、雇用者
も住民も、みんなの自覚で
事故を防止しましょう。

無登録自転車
なくする運動

1日~30日

待てば天国
急げば地獄

左右をよく見て
静かに歩きましょう

ちよつと待て
踏切り前

最近の傾向では無人踏切りの事故がトップを占めています。

前田地区に赤痢発生！

米内沢でも一名出た
夏の衛生にご注意

六月にかけて町
又、異状に気がつい
は、早期に診断を受
うに努めて下さい。

桂瀨(一人)
五味堀(一人)
(一人)
(二人)
病十人、ジフテ
星江熱四人七十

手洗いの励行
伝染病は、食前、
外から帰った時に必
洗うことによって予
ます。

定伝染病にかか
が、今年はずで
生で今後の多発
るので、この夏
注意すること、

の義援金
0円
力を頂き上級の
けしました。
学校に対し厚く

峰浜村大火の義援金
39,140円

町民各位多数のご協力を頂き上記の
金額を被災者にお届けしました。
特に日赤奉仕団、各学校に対し厚く
お礼申し上げます。
(日本赤十字会)

危険物取扱い

者の試験
受付 六月三日と二十二
まで 役場民生課へ
試験 七月七日

毎月五の日は
国税相談の日

国税庁では、かねて納
税者のための税務相談につ
て検討中でありましたが、
このほど、その要領がき

四、税務相談は署の管轄
にかかわらず米署とする

ての相談に開放する。
以上の相談には、各法令
精通した係長以上の幹
職員があたることにな

我が納税組合を語る

新丁納稅組合長 桜井 佐吉

したので、いたって簡単に発入していない方が多いようですが、組合に加入すれば、農機具になったり、記念品になったり、いろいろあると思いますが、金する決意を持つことが、よかったと思うでしょう。

6月の税金
町民税 第1期
納期限 6月30日
町の発展みんなで納税

り、次のように実施することになりました。

一、「税の相談日」は五月から実施する。

二、「税の相談日」は毎月三回、五日の日（五日、十五、二十五日）に全国統一して開き五日の日が日曜や休祭日にあたるときは翌日とする。

ての相談に開放する。以上の相談には、各法令精通した係長以上の幹職員があたることになっています。また税の相談原則として、五日の日に実施しますが、当日以外でも相談に応ずることになってりますから納税者のみなさんご利用下さい。

議 会 た よ り

町議会才四回臨時会を 5月31日招集
主として、和和38年度才入の繰上げ
才用に関する議案が審議された。

提出議案

1. 専決処分事項の承認について

簡易共用林野の継続設定の申請、町内国有林に設定する。

2. 町有立木売買契約変更

惣瀬沢地内、町有立木の売買契約（相手方、米前クラブ）について代金納入期日を次のように変更する
本年5月31日納入の契約を、本年5月、9月及び12月の3回に変更

3. 翌年度才入を繰上げ充用することについて、（予算案等6件）

昭和37年度才入の不足額について
翌年度才入を繰上げ充用する

一般会計	2,159万円
診療所特別会計	1,528万円
水道	60万円

（千円以下切捨）

4. 差川林道開設事業の施行について

根森田字界田地内に延長570米の林道関係工事指名競争入札の方法により施行することとした。



完成した区画整理事業

根小屋部落では昨年から区画整理を急いでいたが、ようやく26町歩の「県単独補助土地区画整理事業」を完成し、個人配分を急いでいる。

総事業費の内、県が2割を補助

し町が1割、残り7割の80%が融資で20%が地元受益者の負担となっている。

浦田部落（土地改良区）の区画整理も完成し、田植えが急がれている。（35町米）

何をやるべきか

何をやるべきかは、その地区、地域毎に、話し合い目標を立てて、計画を作るべきである、一人や二人の小人数でなく、多数のグループ、又は部落単位、町村単位、或いは隣接町村がその相通じるものを一本化して行へべき時代となった。

事實、農業を取りまく社会情勢は深刻そのものであり、国内でも県でも、口を開けば農業構造の改善、農業の近代化を叫んでいる。もはや理論ではなく、実行の段階に立ち至っている。

を迫られる農業

「農業は曲りかどに来て

農業振興の

四つの柱

葉たばこ増反
本年度作付面積を三十五町歩（前年の約二倍）にふやした。平均反収十万円と見てざっと三百五十万円の

（桂瀬、大淵、白坂、浦田）にも種牛の配置が必要となつてゐるので是非導入したい。

売り上げが期待できる。町では、新規耕作者に反当千門を、新規以外の農家にも反当五百門を補助する。

3 林業の振興と

2 畜産の振興
 褐毛和牛の主産地化は当面の急務である。
 このため町有地八十五町十町歩を實施する。

(さいみょうじ)
 西明寺栗の奨励
 本年度は町有林の造林二千町歩を實施する。

又、国有地の林間放牧地の利用について、出願中で

又、差川林道（堺田）二千五

部落
ました。

百米を三ヶ年で開設することとし、本年度二百四十米を実施する。総工費一千万円、国五、町二、地元三の割合で工事費を分担する。

又、従来果樹（リンゴナシ、ブドウなど）にかわ

り、省力栽培も、豊美の

整備、かんがい用水路、排水路の整備、土地の交換など、いろいろの土地条件の整備こそ、農作業の機械化、共同化の先決条件であり、之にふみ切らない

る栗、クルミ、柿、梅など
労力や経費のかからないも
のの振興が考えられている
が、特に、栗タマバチに強い
西明寺栗（さいみょうじく
り）の集団栽培を奨励する。
つぎ本年は奇延地区二十

この票は果実も大きく作りやすく、需要も多いので、換金作物として有望である。本年は九百本の接穂の申込み願います。

4 農業基盤の整備

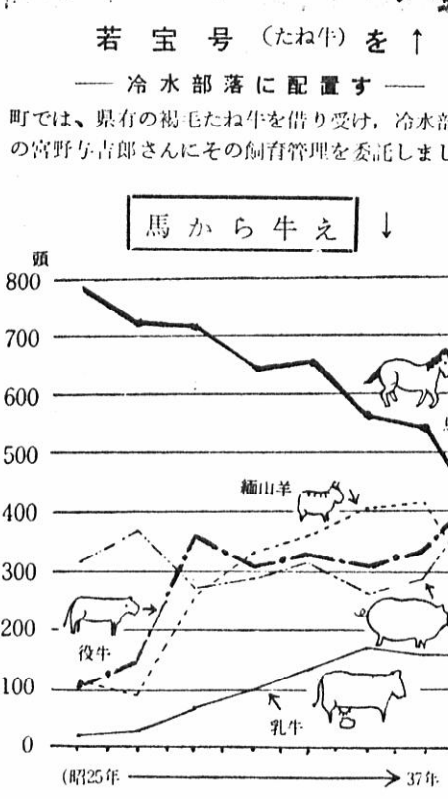
これから稲の品種
東京、大阪では「ハツニ
シキ」「ササシグレ」「コ
シヒカリ」が主で、



馬

豚

水田の区画整理、農道の「消費者に知られているが」



「農業普及だより」
水田の水管理

七月中旬頃から葉先がぬ
れたりと縮んだり、色が披け
ているものを見ることがあ
る。

かえったばかりの幼中の葉
さやえもぐりこむ前に薬剤
にふれるようにして殺すの
で適期をはずすと効果がお

部門別	販売戸数	販売金額 万円	1戸平均 販売額 千円
総 数	1,059	18,674	176
稲 作	935	14,270	153
雑穀 いも類	123	667	54
野菜類	165	593	36
たね たばこ	94	624	67
その他の 如作物	10	34	34
果樹類	17	551	324
畜産収入	412	1,915	46
養 蚕	13	20	15

販売金額 規模別 総数	販売戸数	割合
販売ナン 5万円 未満	1,481戸	100%
5~10万	422戸	28.5
10~20	264	17.8
20~30	201	13.6
30~50	250	16.9
50~100	136	9.2
100万 以上	138	9.3
	67	4.5
	3	0.2

農産物販売状況 (37年)

農 家 戸 数

(経営耕地広狭別)

		総数	3反未満	3反～5反	5反～1町	1町～1.5町	1.5町～2町	2町～3町	3町以上
農家戸数		1,481	184	203	472	304	182	107	29
内	専業	158	3	2	18	32	46	41	16
訳	兼業	1,323	181	201	454	272	136	66	13

割合	専業農家 (12%)	兼業農家 (88%)	農家を主とする兼業農家が531戸 で全農家の35% 兼業を主とする兼業農家が792戸 で全農家の53%
----	---------------	---------------	--

動力農機具の所有台数(共有を含む、団体有は除く)

		耕耘機	トラクター	発動機	電動機	脱穀機	収割機	カッター
台 数		254	4	210	536	735	393	269
普及割合		5.8戸 に1台	—	7戸 に1台	2.7戸 に1台	2戸 に1台	3.7 に1台	5.5戸 に1台